

第5回 岐阜大学医学部附属病院 ゲノム疾患・遺伝子診療センター 公開講座

2021年

3月12日(金)

13:00～14:30

WEB開催

参加費無料

事前登録が必要です

登録期間：2月1日～3月5日



https://zoom.us/webinar/register/WN_3NBkFzgxS_aRNUCGtZq7-g

厚生労働省が実施する難治性疾患克服研究事業の臨床調査研究分野の対象に指定された疾患(130疾患)を以前は特定疾患と呼んでいましたが、現在は、2014年に「難病の患者に対する医療等に関する法律(難病法)」が成立し、特定疾患から指定難病に名称が変更されています。対象疾患は2021年現在333疾患となっていますが、新しく追加された疾患の多くが遺伝性疾患です。

今回の公開講座では、小児における代表的な指定難病として先天性代謝異常症、先天性免疫異常症をテーマにとりあげました。

プログラム

- 13:00 開会の挨拶 岐阜大学大学院医学系研究科産婦人科学分野 教授
岐阜大学医学部附属病院 ゲノム疾患・遺伝子診療センター
センター長 森重 健一郎
- 13:05 講演1 「先天代謝異常～新生児マススクリーニング検査で陽性のとき どうする?～」
岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学 臨床講師 笹井 英雄
- 13:40 講演2 「発熱を繰り返す、発熱が続くが原因がわかりません。遺伝性疾患でしょうか？」
岐阜大学医学部附属病院小児科 准教授 大西 秀典
- 14:15 「ゲノム疾患・遺伝子診療センターご紹介」
岐阜大学医学部附属病院 認定遺伝カウンセラー 仲間 美奈
- 14:20 閉会の挨拶 岐阜大学大学院医学系研究科内分泌代謝病態学分野 臨床教授
岐阜大学医学部附属病院 ゲノム疾患・遺伝子診療センター
副センター長 堀川 幸男

主催 岐阜大学医学部附属病院 ゲノム疾患・遺伝子診療センター